核兵器廃絶と恒久平和を求める特別決議（案）

『ノーモア・ヒロシマ』、『ノーモア・ナガサキ』。この訴えは、核兵器廃絶と恒久平和を願う我々被爆国民の心からの叫びである。

しかし、このおぞましい核兵器は世界中に未だに３万発も存在している。対テロを理由とした米・ロの「使える核兵器」への核戦略の転換や臨界前核実験の強行、北朝鮮の核兵器開発、イスラエル・インド・パキスタンの核兵器保有、核兵器の闇市場への流出など、核兵器の強化・拡散の動きが顕著となり、全世界に緊張と恐怖を拡大させている。我々は、こうした動きを絶対に認めることはできない！今年また国連においてＮＰＴ（核不拡散条約）の再検討会議が開催される。２０００年に開催された再検討会議では、核兵器廃絶に向けて、「核保有国が核兵器廃絶をする明確な約束」など、１３項目とプラス２項目の合意がなされた。

このＮＰＴ再検討会議を焦点にして、核兵器廃絶をめざす世界規模の運動が拡大している。ヒロシマ、ナガサキの市長を先頭とする平和市長会議も、２０２０年に核兵器全廃をめざすとする「２０２０年プラン」を掲げて取り組みをスタートさせている。我々も今年に入り『核兵器廃絶１０００万署名』に、組織をあげて取り組んできた。

いま世界は、「平和」か「戦争」かの選択を迫られている。「戦争」は絶対にＮＯ！「平和」にこそＹＥＳ！を連呼しつつ、核兵器廃絶と恒久平和を追求し続けることを誓い合おう！そして、職場・地域から平和運動の和をひろげよう！

以上、決議する。

２００５年　４月２９日

第７６回愛媛中央メーデー大会